



効率化処理を実行するボリューム効率化ポリシーの作成

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

効率化処理を実行するボリューム効率化ポリシーの作成	1
ボリューム効率化ポリシーの作成	1
ボリュームへのボリューム効率化ポリシーの割り当て	2
ボリューム効率化ポリシーの変更	2
ONTAPでボリューム効率化ポリシーを表示する	3
ボリューム効率化ポリシーの割り当て解除	3
ボリューム効率化ポリシーの削除	4

効率化処理を実行するボリューム効率化ポリシーの作成

ボリューム効率化ポリシーの作成

ボリューム効率ポリシーを作成して、特定の期間にわたってボリューム上で重複排除またはデータ圧縮とそれに続く重複排除を実行し、`volume efficiency policy create` コマンドを使用してジョブ スケジュールを指定できます。

開始する前に

```
`job schedule cron create` コマンドを使用して  
cronスケジュールを作成しておく必要があります。cronスケジュールの管理の詳細については、  
link:../system-admin/index.html["システム管理リファレンス"]を参照してください。  
`job schedule cron create`の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-  
en/ontap-cli/job-schedule-cron-create.html["ONTAPコマンド リファレンス  
"^]を参照してください。
```

タスク概要

デフォルトの定義済みロールを持つSVM管理者は、重複排除ポリシーを管理できません。ただし、クラスタ管理者は、カスタマイズされたロールを使用して、SVM管理者に割り当てられた権限を変更できます。SVM管理者の機能の詳細については、"[管理者認証とRBAC](#)"を参照してください。



重複除去またはデータ圧縮処理は、スケジュールされた時間に実行するか、特定の期間でスケジュールを作成するか、しきい値のパーセンテージを指定して、新しいデータがしきい値を超えるまで待機してから重複除去またはデータ圧縮処理をトリガーすることができます。このしきい値は、ボリュームで使用されているブロックの総数に対するパーセンテージです。たとえば、ボリュームで使用されているブロックの総数が50%のときに、ボリュームのしきい値を20%に設定すると、ボリュームに書き込まれた新しいデータが10%（使用されている50%のブロックの20%）に達したときに、データ重複除去またはデータ圧縮が自動的にトリガーされます。必要に応じて、`df` コマンド出力から使用されているブロックの総数を取得できます。

手順

1. `volume efficiency policy create` コマンドを使用してボリューム効率化ポリシーを作成します。

例

次のコマンドを実行すると、効率化処理を毎日実行するpol1という名前のボリューム効率化ポリシーが作成されます。

```
volume efficiency policy create -vserver vs1 -policy pol1 -schedule daily
```

次のコマンドを実行すると、しきい値が20%に達したときに効率化処理を実行するpol2という名前のボリューム効率化ポリシーが作成されます。

```
volume efficiency policy create -vserver vs1 -policy pol2 -type threshold -start  
-threshold-percent 20%
```

```
`volume efficiency policy create`
```

の詳細については、link:<https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-efficiency-policy-create.html> ["ONTAPコマンド リファレンス"]を参照してください。

ボリュームへのボリューム効率化ポリシーの割り当て

```
`volume efficiency
```

```
modify` コマンドを使用して、ボリュームに効率化ポリシーを割り当て、重複排除またはデータ圧縮処理を実行できます。
```

開始する前に

ボリュームに割り当てる前に、必ず["ボリューム効率化ポリシーを作成する"](#)を確認してください。

タスク概要

効率化ポリシーがSnapVaultセカンダリ ボリュームに割り当てられている場合、ボリューム効率化の優先度属性のみがボリューム効率化処理の実行時に考慮されます。ジョブ スケジュールは無視され、重複排除処理はSnapVaultセカンダリ ボリュームに増分更新が実行されたときに実行されます。

手順

1. `volume efficiency modify` コマンドを使用して、ボリュームにポリシーを割り当てます。

例

次のコマンドは、`new_policy` という名前のボリューム効率化ポリシーを volume `VolA` に割り当てます：

```
volume efficiency modify -vserver vs1 -volume VolA -policy new_policy
```

```
`volume efficiency modify`の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-efficiency-modify.html ["ONTAPコマンド リファレンス"]をご覧ください。
```

ボリューム効率化ポリシーの変更

ボリューム効率化ポリシーを変更して、重複排除とデータ圧縮の実行期間を変更したり、`volume efficiency policy modify` コマンドを使用してジョブ スケジュールを変更したりできます。["ONTAPコマンド リファレンス"](#)の `volume efficiency policy modify` の詳細を確認してください。

手順

1. `volume efficiency policy modify` コマンドを使用して、ボリューム効率化ポリシーを変更します。

例

次のコマンドは、policy1 という名前のボリューム効率化ポリシーを1時間ごとに実行するように変更します。

```
volume efficiency policy modify -vserver vs1 -policy policy1 -schedule hourly
```

次のコマンドは、pol2という名前のボリューム効率化ポリシーのしきい値を30%に変更します。

```
volume efficiency policy modify -vserver vs1 -policy pol1 -type threshold -start  
-threshold-percent 30%
```

ONTAPでボリューム効率化ポリシーを表示する

名前、スケジュール、期間、説明を含むボリューム効率化ポリシーを表示できます。

タスク概要

このコマンド `volume efficiency policy show` は、ボリューム効率化ポリシーを表示するために使用されます。クラスタスコープでコマンドを実行すると、クラスタスコープのポリシーは表示されません。ただし、SVM コンテキストではクラスタスコープのポリシーを表示できます。["ONTAPコマンド リファレンス"](#)の `volume efficiency policy show` の詳細をご覧ください。

手順

1. `volume efficiency policy show` コマンドを使用して、ボリューム効率化ポリシーに関する情報を表示します。

出力は指定したパラメータによって異なります。["ONTAPコマンド リファレンス"](#)の `volume efficiency policy show` の詳細をご覧ください。

例

次のコマンドは、SVM vs1 用に作成されたポリシーに関する情報を表示します：
`volume efficiency policy show -vserver vs1`

次のコマンドは、期間が 10 時間に設定されているポリシーを表示します：
`volume efficiency policy show -duration 10`

ボリューム効率化ポリシーの割り当て解除

ボリュームからボリューム効率化ポリシーの割り当てを解除して、そのボリュームに対してスケジュールされている以降の重複排除またはデータ圧縮処理を中止できます。割り当てを解除したボリューム効率化ポリシーは手動で開始する必要があります。

手順

1. `volume efficiency modify` コマンドを使用して、ボリューム効率化ポリシーとボリュームの関連付けを解除します。

例

次のコマンドは、ボリューム効率化ポリシーをボリューム VolA から関連付け解除します：
`volume efficiency modify -vserver vs1 -volume VolA -policy -`

``volume efficiency modify``の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-efficiency-modify.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-efficiency-modify.html) ["ONTAPコマンド リファレンス"]をご覧ください。

ボリューム効率化ポリシーの削除

``volume efficiency policy delete``コマンドを使用して、ボリューム効率化ポリシーを削除できます。

開始する前に

削除するポリシーが関連付けられてるボリュームがないことを確認しておく必要があります。



inline-only および *default* の定義済み効率ポリシーは削除できません。

手順

1. ``volume efficiency policy delete``コマンドを使用して、ボリューム効率化ポリシーを削除します。

例

次のコマンドは、`policy1`という名前のボリューム効率化ポリシーを削除します：`volume efficiency policy delete -vserver vs1 -policy policy1`

``volume efficiency policy delete``
の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-efficiency-policy-delete.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/volume-efficiency-policy-delete.html) ["ONTAPコマンド リファレンス"]を参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。